

町田市議会議員・若者育成の街

吉田つとむ

支持政党なし・市議会「保守の会」で活動

町田市議会
〒194-8520 東京都
町田市森野 2-2-22
☎042-724-2171
「保守の会」派室
自宅 042-795-7361
FAX 042-795-2726
yoshidaben@gmail.com



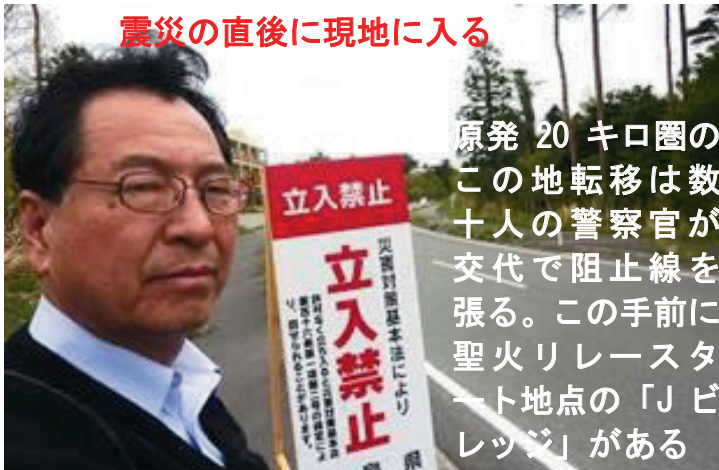
インターンシップ好評

オリンピックの海外受け入れ無しは本当か

オリ・パラ委員会は橋本聖子会長（参議院議員）を始め、女性の委員が就任し、新たな装いを示しています。

そのオリ・パラ運営にあたっては、東京都の意向も含めて、外国人客を入れないで開催する案を基本に、IOCに伝えられると見られています。ただし、この開催方法は、従来から委員を続けてきた山口 香さん（オリンピック銅メダリスト、全日本選手権10連覇）が再三提起してきたことです。コロナの終息が見込めない中、オリンピックの東京大会は無理、どうしてもやるなら海外の客を入れるべきではないというものでした。

現状、日本は海外からの新規入国を停止した状況であり、オリンピックで数十万人の人が世界中から集まれば、コロナの第4次感染は避けがたく、その後どのような苦難が訪れようが、なんとしても「オリンピック開催」にこだわる東京都の小池都知事にしてみれば、「聖火リレー」実施、開会式にこぎつけるためには、経済の苦境脱出より、オリンピックだけは開催された、コロナに打ち勝ったという評価を得たいのでしょう。



震災の直後に現地に入る

原発20キロ圏のこの地転移は数十人の警察官が交代で阻止線を張る。この手前に聖火リレースタート地点の「Jビレッジ」がある

首都圏緊急事態宣言の継続とトップの判断

首都圏の4都県は、2ヶ月の緊急事態宣言後、さらに2週間の延長になりました。今回、東京都の小池都知事が取っている行動の中で疑問点があります。

それは、東京都は日本の中で格段に財政規模が大きな自治体であり、諸外国の中ではスウェーデンやインドネシアに匹敵すると言われていながら、今回も緊急事態の延長の是非を、肝心な時に国（政府）にゆだねていることです。本来、国家の防衛に相当する事態が東京や首都圏で起きているわけでもなく、コロナ鎮静化に自衛隊の出動が検討されているわけでもないのであり、まさに、東京都が自治の在り方として、「非常事態」の判断をtokyoで行うべきだと思っています。



現実には、東京都が行う主要な対策は、緊急事態宣言と称しながら、国の税金を大量に使って、大小の規模を無視して飲食店に毎日各6万円を配って時短をしている事業者とその家族に恩恵を施しているに過ぎないものです。本来は、延長時、再延長時に、より効果的な対策を練り返すべきであり、それらを提起するのが、小池都知事の役割と思っています。

◎消費税をゼロ%に転換することが国家の急務課題。国が動かないなら地方から声を起こしていこう！コロナの第4波を避けるため、医療対策優先し、オリンピックを中止しよう！

町田市議会の定例会は、2月19日より始まり、3月29日までのロングランで実施中。

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

若い世代の育成に全力をささげる



ブログ



HP

メールは
左記を送信
して送信



インターン生募集中

中学校給食センター方式：住民要望と議会

町田市政の大きな転換が起きます。すなわち、中学校給食が全く不人気の市外業者が作る弁当への個人の注文方式をやめ、新たに市内に複数の給食センターを造って、全員を対象にして温かい給食を提供する方式に改めることです。



視察した八戸市の給食センター内モニター

この間、様々の意見が議会に寄せられ、長い議論の末に上記の方向性を打ち出したものです。議会が主導権を取って、市長と教育委員会のかたくなな方針を変更させたのです。ただし、給食センター施設を造ること、校舎に配膳用のエレベーターやリフトを設置したり、一時保管のスペースを確保することなど、既存建築の改修・改造も必要になるため、数年がかりの移行期間を要することになります。

以前から提案してきたことですが、第1回定例会では、個人の一般質問ではなく、所属会派の代表質疑の中にも盛り込んでもらいました。複数の給食センターを造るので、そのエネルギー源を分散化すること、よりソフト化を図る計画を問う内容を依頼しました。今回は、生徒さんに喜ばれ、地元の企業が参加した給食施設ができてほしいと願っています。

インターン体験記⑫松村エミリ



第45期研修生 松村エミリ(高校3年生)

皇居(北の丸)のほど近くに建つ、日本で最初の国立美術館である東京国立近代美術館に足を運びました。およそ明治40年(1907年)から今日までの、日本と海外の美術作品が展示されていて、近代の歩みを美術の観点から覗くことが出来ました。誰もが知っているような著名な作品を含め、沢山の展示に目が足りないと感じるような錯覚を起こしてしまいました。とても刺激的な空間で再度訪れたいと思いました。また、ある意味では、コロナ渦をテーマにされた展示は今しか見れないもので、with コロナを模索する美術館の現状も観察することが出来ました。



★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

今回の議会報告も、いわゆる政務活動費を一切使わずに、自主的に発行しているものです。